

太陽光 発電シミュレーション

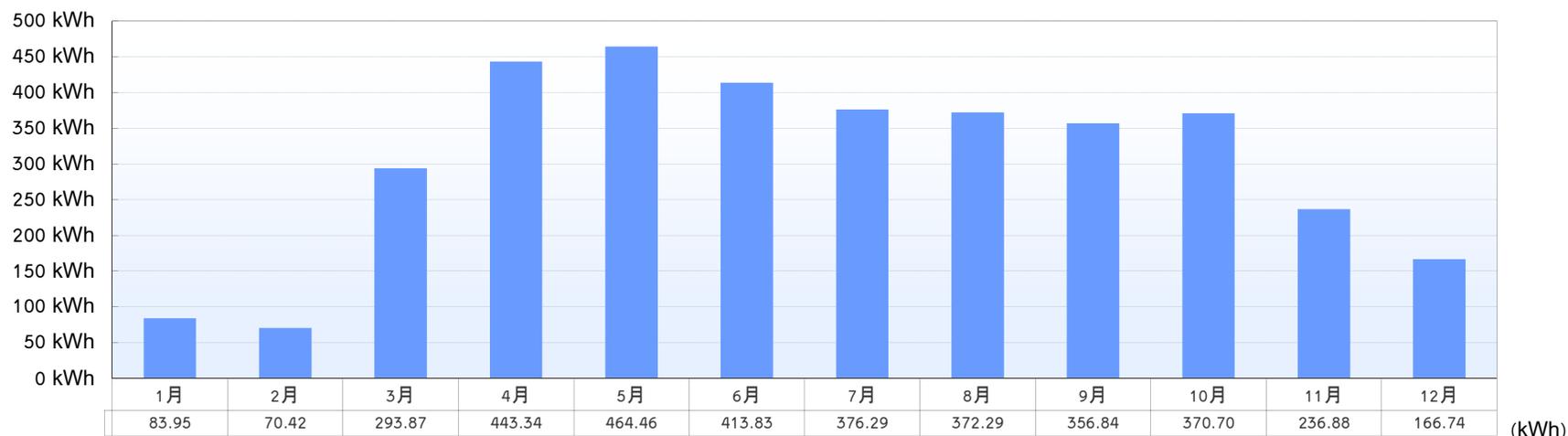
ソーラーラックセテラタイプ 太陽光発電システムのご提案

【設置情報】

最寄りの気象地点				モジュール			
都道府県	北海道（渡島）	緯度	41° 49.0'	名称	LX2B-270H	枚数	15枚
地名	函館	経度	140° 45.0'			枚数	枚
						枚数	枚
パワーコンディショナー				設置条件		システム容量	
名称	RLE-KP40K3	1 効率	95.0%	異直列有無	無	4.05 kW	
		効率		積雪考慮	有		
		効率					



◆ 月別予想発電量シミュレーション



※本シミュレーションは参考値であり、実際の発電量ではありません。
 ※システムの「太陽電池容量」は、JIS規格に基づいて算出された太陽電池モジュール出力の合計値です。
 ※実使用時の出力（発電電力）は、日射の強さ、設置条件（方位・角度・周辺環境）、地域差、及び温度条件により異なります。
 ※発電電力は最大でも次の損失により、太陽電池容量の70～80%程度になります。
 ※月別平均日射量データは、NEDO(独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構)／(財)日本気象協会「日射関連データの作成・調査」によります。
 発電量算定式：月別発電量(kWh)=太陽電池容量(kW)×日射量(kWh/m²)×パワーコンディショナー効率×(1-温度損失)×(1-その他の損失)
 その他の損失・・・配線、受光面の汚れ、回路ロス等による損失、5% パワーコンディショナー効率は機種別の効率値を使用しています。
 モジュール温度上昇による損失=12月～2月：10%、3月～6月：15%、6月～8月：20%、9月～11月：15%
 ※積雪時、モジュールが雪に埋まっていると、発電されない場合があります。
 ※積雪考慮時の発電量の計算はNEDO/日本気象協会「全国日射量データマップ(MONSOLA11)」の「10cm積雪出現率」の値を利用しています。
 ※引き込み線の全長が40mを超えた場合、配線ロス等により、超過分10m当たり1%程度の発電量の低下に繋がる可能性があります。
 また、これら超過分のロスについて、各種シミュレーションには反映されません。

年間発電量予測

3,650 kWh

作成日	2015/3/16
株式会社LIXIL	

LIXIL